

バルシューレ ボールの学校

Ballschule

ここから、すべてのボールスポーツへ



ドイツ・ハイデルベルク大学で1998年に開設されました。約150種類の遊びを通じて子どもたちのボールゲームの能力を開発するプログラムとして、日本、ヨーロッパ、アメリカ、南アフリカ、オーストラリアなど世界11カ国で取り入れられています。



知っておきたい、運動遊びで育つ力

バルシューレは
全ての子どもに楽しい身体活動（＝運動遊び）を提供します。

運動能力



子どもの運動遊びは運動能力を高めます。
走る・跳ぶ・蹴る・投げるなどの体の動きは、6～7歳ごろまでに獲得されるため、幼児期の運動遊びはとても大切です。

認知的能力

日常的に適度な運動・スポーツを行い体力や運動能力を高めることは認知的能力の開発に役立ちます。



自己肯定感と コミュニケーション 能力

運動遊びでたくさんの成功体験を積むと、日常生活でも自信をもって行動できるようになり、また、チームで取り組む運動は、他者とのコミュニケーション能力を高める機会となります。



北海道教育大学岩見沢校スポーツ文化専攻
奥田 知靖 准教授



子どもの頃の多様な運動様式と自由な思考経験の蓄積は、将来的に器用に体を動かしたり創造的にプレーする能力の開発において大切になります。

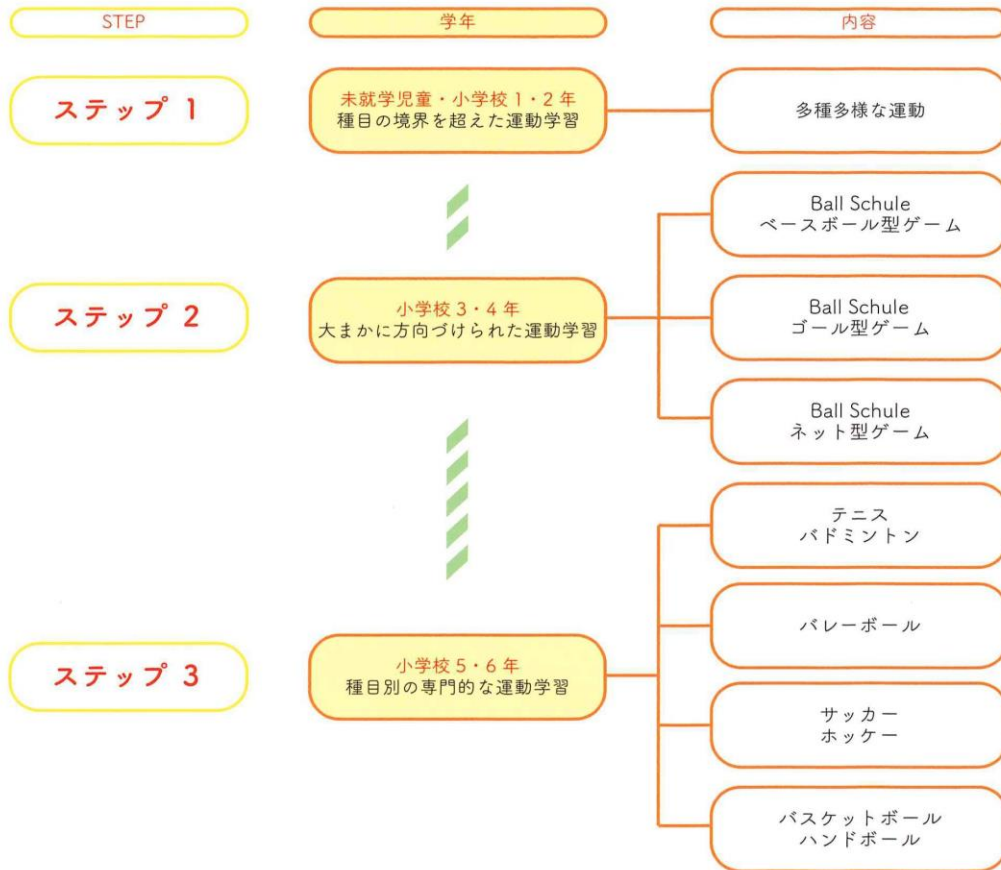
従いまして、バルシューレ指導者は、できる限り言葉による修正指示を少なくしつつ、練習条件を工夫・変化させることによって、子どもが楽しみながら無意識的に運動スキルを習得できる環境づくりに努めています。



バルシューレの指導方針

子どもの発達に適したプログラム

子どもの発達段階を考慮したプログラムを提供します。
多くのボールゲームに共通する、戦術（創造性）、
コーディネーション（器用な身のこなし・ボール操作）、
技術（様々なスキルの構成要素）を育成します。



自由な思考に重きを置いた学習

バルシューレでは、ゲーム中に子どもたちには指導的介入をほとんどしません。
ゲームを通じて、子どもたちが「学習している」意識を持つことなく
球技の知識やスキルを身につけることを重視します。

学年が上がるにつれ、子どもたちの方向性に合わせたフィードバックを加えていきます。



楽しい経験によって高まる学習効果

子どもにとって運動を楽しんでいることは重要です。運動学習のゲームで得た、「期待した以上の達成感」は次の学習の動機にもなり学習効果を高めることに繋がります。バルシューレでは、発育発達段階、運動の経験値に応じて、コーチングする量を工夫し、常に楽しい環境作りを提供します。



バルシューレの目指すこと
小さなオールラウンダーへ

小さい子どもの年代は、どのような種目にも通ずる器用な身のこなしや、多様な戦術的思考などのボールゲームの土台を築いておくことが必要です。バルシューレでは、子どもの多面的な能力を伸ばすために、多種多様な運動・ゲーム形式・用具を選択し、段階的に個別スポーツへの移行をはかります。

皆さんの声

子どもが運動好きになり、
前向きになりました。
家族で運動する機会も
増えました。

Kくんのお母さま



毎回通うのを楽しみにしていますし、
いい笑顔で帰ってきます。

Yちゃんのご両親



否定的な言葉を使わず
子どもを尊重してくれます。
子どものやる気を引き出して
くれます。

Tくんのお父さま



Q&A

Q: 何歳から運動はさせたほうがいいのかいいますか？

A: なるべく早いうちからボールに親しむ方がいいです。ただし、専門的に行うのは小学校高学年頃からで構いません。バルシューレでは1歳半頃からクラスがあります。

Q: うちの子は運動が苦手なようですが、何とかできますか？

A: 一般的な運動スキルは、多様な運動経験を積み重ねることで育成されます。バルシューレは、様々な球技につながる動作を、子どもが楽しみながら身につけることができるように工夫されていますので、多くの子どもが楽しく取り組めると思います。

Q: 既に少年団などの習い事に通っている子は、バルシューレに通うことでどのような効果がありますか？

A: 今より考える力や多様な動きを身に付けることができる可能性があります。バルシューレの運動プログラムの中には、どのような運動にも必要となるコーディネーション能力を高めるための遊びも含まれているため、さらなる巧みな体の使い方を獲得することが期待できます。



自分で考えて行動できる 運動の環境づくりを。

子どもは子どもである。大人が考える成功を子どもに押し付けてはいけません。

子どもは自分で失敗を経験し成長します。失敗しないための手助けをするのでは無く、

失敗をした時に手を差し伸べてあげられるように大人としてサポートしましょう。

子どもたちが自分で経験する失敗は、大人が思っている以上に重要です。

自分自身で多様な経験をして、修正をして、考えることができる子どもたちが育つ環境を創りましょう。



SLDI代表 辻本 智也

無料体験実施中！

さまざまな悩みや疑問へ研究に基づいた回答をし、
一人一人の子どもに合った指導を行なっています。
是非、一度ご体験ください。

お問い合わせ

一般社団法人 SLDI 辻本 智也 (つじもとともや)

TEL:080-9610-0473

Mail: info@sldi.club

URL: <https://sldi.club/lp/>



制作協力



後援

岩見沢市

岩見沢市教育委員会